

『モンサントの不自然な食べもの』

上映会

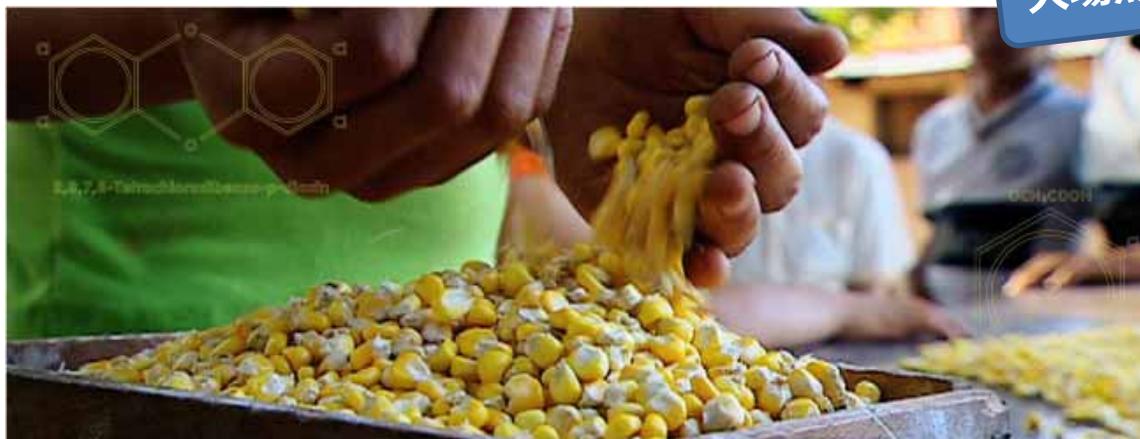
日時 11月9日(土)PM2:30 開演 (2:00 開場)

会場 京都アスニ (丸太町七本松西入ル)

共催 京都食健連、T P P 参加反対京都ネットワーク

(連絡先 京都食健連 075-641-1934)

入場無料です



あなたの食卓は大丈夫ですか？

私たちに身近な食品、豆腐や納豆、ポテトチップなどのラベルにかならずある「遺伝子組み換えでない」という表記。当たり前のように食卓にのぼる遺伝子組み換え作物、「不自然な食べもの」。果たしてそれはどこから来るのだろうか？

世界の胃袋を握ること---それがモンサントのビジネス戦略。

アメリカに本社を構えるアグロバイオ企業「モンサント社」、世界の遺伝子組み換え作物市場の90%を誇るグローバル企業の、クリーンなイメージに隠された裏の姿をカメラは追う。遺伝子組み換え作物から、過去に発売された枯葉剤、農薬、PCB、牛成長ホルモン。1世紀にわたるモンサント社のヴェールに包まれた歴史を、貴重な証言や機密文書によって検証していく。

自然界の遺伝的多様性や食の安全、環境への影響、農業に携わる人々の暮らしを意に介さないモンサント社のビジネス。本作は、生物の根幹である「タネ」を支配し利益ばかりを追求する現在の「食」の経済構造に強い疑問を投げかける。「世界の食料支配、それはどんな爆弾より脅威である・・・」と作中で語られる、世界の食物市場を独占しようとするモンサントの本当の狙いとは？

監督 マリー=モニク・ロバン 2008年フランス、カナダ、ドイツ
カナダ国立映画製作庁・アルテフランス共同制作 / 108分

この映画を見た後でも、まだT P P に賛成できますか!!